

ホーム > まちづくり・防災 > 震災復興 > 被害状況・復興の歩み > 阪神・淡路大震災の死者にかかる調査について(平成17年12月22日記者発表)

更新日:2008年1月28日

## 阪神・淡路大震災の死者にかかる調査について(平成17年12月22日記者発表)

### 1 調査概要について

#### 1 調査目的

当該調査は、震災10周年を契機に、特に疑義が生じていた死者数について、死者の氏名・性別・生年月日等を収集して二重計上を排除する

方法により検証作業を行い、併せて、死因や死亡時年齢等の各種統計データを取りまとめ、今後の防災体制の充実・強化に資する基礎資料と

する。

#### 2 調査方法

本調査は、旧被災12市4町(13市)を対象として実施した。

#### 3 調査項目(10項目)

・氏名 ・性別 ・生年月日 ・被災住所地 ・主たる居住地 ・死亡日  
・死亡時年齢 ・直接死、関連死の区別 ・死因 ・国籍

#### 4 調査期間

・期 間 :平成16年9月22日～平成17年 3月31日  
・分析・集計期間:平成17年4月 1日～平成17年11月30日

#### 5 調査結果の概要

(1)死者数:6,402人(男性2,713人、女性3,680人、不明9人)

(注)不明9人は、神戸市において被災した身元不明者である。

(2)死亡時年齢:平均死亡時年齢58.6歳

・65歳以上の割合 49.6%

・年代別死者の順位 (1)70歳代(1,268人)

(2)60歳代(1,217人)

(3)80歳代(1,074人)

(3)死因(直接死(5,483人)に占める主な死因の内訳)

: (1) 窒息・圧死 72.57% (3,979人)

(2) 外傷性ショック 7.75% (425人)

(3) 焼死 7.35% (403人)

(4)直接死・関連死(県内6,402人)

: 直接死 5,483人(85.65%)、関連死 919人(14.35%)

【参考】これまでの死者数の考え方について

(1)死者数

・現在、消防庁の公表している死者数は、6,401人(県外を含めると6,433人)であり、直接死及び関連死の総数である。但し、直接死及び関連死

の内訳は、公表していない。また、自殺者は含まれていない。

(2)考え方

・災害による人的被害については、被災地で計上する(被災地主義)のが災害報告の原則である。

・関連死については、震災と相当な因果関係があると災害弔慰金判定委員会(市町で設置)等において認定された死者

(例:震災によるストレスが原因で死亡)である。(阪神・淡路大震災で初めて認められた概念である。)

2 調査結果について

1 死者数

(1) 二重計上によるものとして、神戸市において計2人の重複計上が判明した。

【原因】同一の犠牲者について、直接死と関連死でそれぞれ異なるデータで登録されていたため、二重計上をチェックできなかったことによる。

(2) 計上漏れによるものとして、次の3人の震災死者について、被災地で計上されていないことが判明した。

【原因】(1)明石市民で、同市内において被災し、搬送先の神戸市内の病院で死亡した1人が明石市で計上されていなかった。

(2)明石市民で、神戸市内において被災し、死亡した2人が神戸市に計上されていなかった。

(3) その結果、震災による兵庫県の死者数は6,401人から6,402人となる。

区分	増(人)		減(人)		増減
	神戸市	明石市	神戸市	明石市	
重複計上	—	—	△2	—	△2
計上漏れ	2	1	—	—	3
計	2	1	△2	—	1

## 2 調査項目ごとの内訳

### (1) 市別内訳【単位:人、(%)】

市町名	死者数	
神戸市	4,564(71.29)	
尼崎市	49(0.77)	
西宮市	1,126(17.59)	
芦屋市	443(6.92)	
伊丹市	22(0.34)	
宝塚市	117(1.83)	
川西市	4(0.06)	
明石市	11(0.17)	
加古川市	2(0.03)	
三木市	1(0.02)	
高砂市	1(0.02)	
洲本市	4(0.06)	
(注)淡路市	58(0.91)	
	(旧)津名町	5
	(旧)淡路町	1
	(旧)北淡町	39

	(旧)一宮町	13
合計		6,402(100.00)

(注)平成17年4月1日に合併したことによる。

(2) 性別【単位:人、(%)】

性別	死者数
男性	2,713 (42.38)
女性	3,680 (57.48)
不明	9 (0.14)
合計	6,402 (100.00)

(3) 死亡年月日【単位:人、(%)】

死亡年月日	死者数		
1995年1月17日	4,978	(	77.76)
1月18日	197	(	3.08)
1月19日	50	(	0.78)
1月20日	48	(	0.75)
1月21日	34	(	0.53)
1月22日	35	(	0.55)
1月23日	39	(	0.61)
1月24日	23	(	0.36)
1月25日	25	(	0.39)
1月26日	35	(	0.55)
1月27日	30	(	0.47)
1月28日	30	(	0.47)

1月29日	19	(	0.30)
1月30日	23	(	0.36)
1月31日	12	(	0.19)
2月1日以降	583	(	9.11)
不明	241	(	3.76)
合計	6,402	(	100.00)

(4) 死亡時年齢【単位：人、(%)】

死亡時年齢	男性	女性	合計		
0歳～4歳	67	55	122	(	1.91)
5歳～9歳	64	66	130	(	2.03)
10歳～14歳	66	79	145	(	2.26)
15歳～19歳	70	102	172	(	2.69)
20歳～24歳	151	148	299	(	4.67)
25歳～29歳	81	92	173	(	2.70)
30歳～34歳	60	85	145	(	2.26)
35歳～39歳	62	57	119	(	1.86)
40歳～44歳	97	109	206	(	3.22)
45歳～49歳	118	162	280	(	4.37)
50歳～54歳	173	236	409	(	6.39)
55歳～59歳	212	249	461	(	7.20)
60歳～64歳	261	299	560	(	8.75)
65歳～69歳	272	385	657	(	10.26)
70歳～74歳	266	411	677	(	10.57)
75歳～79歳	222	369	591	(	9.23)

80歳～84歳	264	413	677	(	10.57	)
85歳～89歳	155	242	397	(	6.20	)
90歳～94歳	39	100	139	(	2.17	)
95歳～99歳	9	19	28	(	0.44	)
100歳～	4	2	6	(	0.09	)
性別及び死亡時年齢不明			9	(	0.14	)
合計	2,713	3,680	6,402	(100.00)		

[注]: (3)死亡年月日不明241人の死亡時年齢については以下のとおりである。

- ・遺族からの聞き取り調査や新聞情報等により死亡時年齢を確認(146人)
- ・1月17日に死亡したと仮定して、死亡時年齢を算出(86人)
- ・生年月日不明のため死亡時年齢不明(9人)

(5) 直接死・関連死【単位:人、(%)】

区分	死者数
直接死	5,483(85.65)
関連死	919(14.35)
合計	6,402(100.00)

(6) 国籍【単位:人、(%)】

国籍	死者数
日本	6,231(97.33)
韓国・朝鮮	107(1.67)
中国	40(0.62)
ブラジル	8(0.12)

ミャンマー	3(0.05)
アメリカ合衆国	2(0.03)
フィリピン	1(0.02)
オーストラリア	1(0.02)
不明	9(0.14)
合計	6,402(100.00)

(7) 直接死の死因【単位:人、(%)】

死因	死者数
窒息・圧死	3,979 (72.57)
外傷性ショック	425 (7.75)
焼死	403 (7.35)
頭・頸部損傷	172 (3.14)
内臓損傷	68 (1.24)
その他	143 (2.61)
不詳及び不明	293 (5.34)
合計	5,483(100.00)

(注)死者6,402人のうち、直接死の死因のみの内訳である。

お問い合わせ

部署名:企画県民部災害対策局災害対策課

電話:078-362-9988

FAX:078-362-9911

Eメール:[saitai@pref.hyogo.lg.jp](mailto:saitai@pref.hyogo.lg.jp)